○総務省告示第四百七十四号

電波法施行規則（昭和二十五年電波監理委員会規則第十四号）第十二条第十一項の規定に基づき、昭和四十四年郵政省告示第五百十三号（航空機局が送り及び受けることができなければならない電波を定める等の件）の一部を次のように改正し、平成二十九年一月一日から施行する。

平成二十八年十二月二十七日

総務大臣　山本　早苗

第二項の表一の項中「四〇六・〇二八MHz」の下に「、四〇六・〇三二MHz」を加える。

○総務省告示第四百七十五号

無線設備規則（昭和二十五年電波監理委員会規則第十八号）第四十五条の二第一項第五号及び第二項第五号の規定に基づき、平成十七年総務省告示第千二百二十五号（衛星非常用位置指示無線標識の技術的条件を定める件）の一部を次のように改正し、平成二十九年一月一日から施行する。

平成二十八年十二月二十七日

総務大臣　山本　早苗

第二項第一号中「四〇六・〇二八MHz」の下に「、四〇六・〇三二MHz」を加える。

○総務省告示第四百七十六号

無線設備規則（昭和二十五年電波監理委員会規則第十八号）第四十五条の三の五第四号の規定に基づき、平成十八年総務省告示第六百七号（設備規則第四十五条の三の五に規定する無線設備の技術的条件を定める件）の一部を次のように改正し、平成二十九年一月一日から施行する。

平成二十八年十二月二十七日

総務大臣　山本　早苗

第五項中「四〇六・〇二八MHz」の下に「、四〇六・〇三二MHz」を加える。

○総務省告示第四百七十七号

無線設備規則（昭和二十五年電波監理委員会規則第十八号）第四十五条の三の三の三第五号の規定に基づき、平成二十七年総務省告示第二百八十三号（携帯用位置指示無線標識の技術的条件を定める件）の一部を次のように改正し、平成二十九年一月一日から施行する。

平成二十八年十二月二十七日

総務大臣　山本　早苗

第一項第四号中「四〇六・〇二八MHz」の下に「、四〇六・〇三二MHz」を加える。

○厚生労働省告示第四百三十六号

労働安全衛生法（昭和四十七年法律第五十七号）第五十七条の四第一項に規定する新規化学物質について同項の規定による届出があったので、同条第三項の規定に基づき、その名称を次のとおり公表する。

平成二十八年十二月二十七日

厚生労働大臣　塩崎　恭久

通し番号	名称	整理番号
25456	アクリルアミド・アクリル酸・ジアリル（ジメチル）アンモニウム＝クロリド・２－メチリデンコハク酸共重合物（分子内環化反応生成物を含むものに限る。）	９－3356
25457	アクリル酸・アクリロニトリル・アリル＝メタクリラート・エチル＝アクリラート・２－エチルヘキシル＝アクリラート・シクロヘキシル＝メタクリラート・スチレン共重合物のカリウム及びナトリウム混合塩	９－3357
25458	アクリル酸・アクリロニトリル・（α－［１－（アルキル（Ｃ＝10～14、分枝型）オキシ）－３－（アリルオキシ）プロパン－２－イル］－ω－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）を主成分とする、{２－［（アリルオキシ）メチル］オキシランとアルカノール（Ｃ＝10～14、分枝型）の反応生成物}・オキシラン重付加物）・{［（α－［１－（アルキル（Ｃ＝10～14、分枝型）オキシ）－３－（アリルオキシ）プロパン－２－イル］－ω－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）を主成分とする、{２－［（アリルオキシ）メチル］オキシランとアルカノール（Ｃ＝10～14、分枝型）の反応生成物}・オキシラン重付加物）・{［（α－［１－（アルキル（Ｃ＝10～14、分枝型）オキシ）－３－（アリルオキシ）プロパン－２－イル］－ω－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）を主成分とする、{２－［（アリルオキシ）メチル］オキシランとアルカノール（Ｃ＝10～14、分枝型）の反応生成物}・オキシラン重付加物）の硫酸エステル化反応生成物］のアンモニウム塩}・α－［４－アルキル（Ｃ＝９、分枝型）－２－（プロパ－１－エン－１－イル）フェニル］－ω－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）・アンモニウム＝α－［４－アルキル（Ｃ＝９、分枝型）－２－（プロパ－１－エン－１－イル）フェニル］－ω－（スルホナトオキシ）ポリ（オキシエチレン）・２－エチルヘキシル＝アクリラート・シクロヘキシル＝メタクリラート・２，３－ジヒドロキシプロピル＝メタクリラート・スチレン・３－（トリメトキシシリル）プロピル＝メタクリラート・１，２，２，６，６－ペンタメチル－４－ピペリジル＝メタクリラート・メチル＝メタクリラート共重合物	９－3358
25459	アクリル酸・（α－［１－（アルキル（Ｃ＝10～14、分枝型）オキシ）－３－（アリルオキシ）プロパン－２－イル］－ω－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）を主成分とする、{２－［（アリルオキシ）メチル］オキシランとアルカノール（Ｃ＝10～14、分枝型）の反応生成物}・オキシラン重付加物）・{［（α－［１－（アルキル（Ｃ＝10～14、分枝型）オキシ）－３－（アリルオキシ）プロパン－２－イル］－ω－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）を主成分とする、{２－［（アリルオキシ）メチル］オキシランとアルカノール（Ｃ＝10～14、分枝型）の反応生成物}・オキシラン重付加物）・{［（α－［１－（アルキル（Ｃ＝10～14、分枝型）オキシ）－３－（アリルオキシ）プロパン－２－イル］－ω－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）を主成分とする、{２－［（アリルオキシ）メチル］オキシランとアルカノール（Ｃ＝10～14、分枝型）の反応生成物}・オキシラン重付加物）の硫酸エステル化反応生成物］のアンモニウム塩}・α－［４－アルキル（Ｃ＝９、分枝型）－２－（プロパ－１－エン－１－イル）フェニル］－ω－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）・アンモニウム＝α－［４－アルキル（Ｃ＝９、分枝型）－２－（プロパ－１－エン－１－イル）フェニル］－ω－（スルホナトオキシ）ポリ（オキシエチレン）・２－エチルヘキシル＝アクリラート・シクロヘキシル＝メタクリラート・２，３－ジヒドロキシプロピル＝メタクリラート・スチレン・３－（トリメトキシシリル）プロピル＝メタクリラート・１，２，２，６，６－ペンタメチル－４－ピペリジル＝メタクリラート・メチル＝メタクリラート共重合物	９－3359
25460	アクリル酸・（α－［１－（アルキル（Ｃ＝10～14、分枝型）オキシ）－３－（アリルオキシ）プロパン－２－イル］－ω－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）を主成分とする、{２－［（アリルオキシ）メチル］オキシランとアルカノール（Ｃ＝10～14、分枝型）の反応生成物}・オキシラン重付加物）・{［（α－［１－（アルキル（Ｃ＝10～14、分枝型）オキシ）－３－（アリルオキシ）プロパン－２－イル］－ω－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）を主成分とする、{２－［（アリルオキシ）メチル］オキシランとアルカノール（Ｃ＝10～14、分枝型）の反応生成物}・オキシラン重付加物）の硫酸エステル化反応生成物］のアンモニウム塩}・アンモニウム＝α－（３－メチルブター３－エン－１－イル）－ω－（スルホナトオキシ）ポリ［オキシエチレン／オキシ（エチルエチレン）］・２－エチルヘキシル＝アクリラート・シクロヘキシル＝アクリラート・シクロヘキシル＝メタクリラート・３－（トリメトキシシリル）プロピル＝メタクリラート・２－ヒドロキシエチル＝メタクリラート・α－ヒドロ－ω－［（３－メチルブター３－エン－１－イル）オキシ］ポリ［オキシエチレン／オキシ（エチルエチレン）］・１，２，２，６，６－ペンタメチル－４－ピペリジル＝メタクリラート共重合物	９－3360
25461	{［アクリル酸と（２－｛［（６－｛９－［６－（オキシラン－２－イルメトキシ）－２－ナフチル］－９Ｈ－フルオレン－９－イル｝－２－ナフチル）オキシ］メチル｝オキシランを主成分とする、２－（クロロメチル）オキシランと６，６’－（９Ｈ－フルオレン－９，９－ジイル）ビス（ナフタレン－２－オール）の反応生成物）の反応生成物］・ビス（エポキシプロピル）－３，４：３’，４’－テトラカルボン酸二無水物重付加物｝とシクロヘキサ－４－エン－１，２－ジカルボン酸無水物の反応生成物	10－3532
25462	アクリル酸と２，２’－［９Ｈ－フルオレン－９，９－ジイルビス（ナフタレン－６，２－ジイルオキシ）］ジエタノールのエステル化反応生成物	７－(1)－919
25463	α－アセチル－ω－（アセチルオキシ）ポリ［オキシカルボニルシクロヘキサン－１，２－ジイルカルボニルオキシシクロヘキサン－１，４－ジイル（ジメチルメチレン）シクロヘキサン－１，４－ジイルオキシカルボニルシクロヘキサン－１，２－ジイルカルボニル］	10－3533
25464	２－アセチルナフト［２，３－*b*］フラン－４，９－ジオン	８－(4)－2027
25465	１－｛２－*O*－アセチル－３－*O*－ベンジル－４－*C*－［（ベンジルオキシ）メチル］－５－デオキシ－α－L－*lyxo*－ヘキソフラノシル｝－５－メチルピリミジン－２，４（１Ｈ，３Ｈ）－ジオン	８－(2)－2695